子んだことを忘れずにが と思います。岩手高校で と同時に新たな進路の第 います。高校を卒業する

歩を踏み出したことだ

とが決まっています。こ も同じ大会に出場するこ 品を出展します。映画部 全国高校総合文化祭に作 鳥取県米子で開催される

をご覧下さい。)を迎え あります。詳細について

さまざまな形態で学校新 もちろん、それ以前から の月日がながれました。

えた時期もありましたが るわけです。発行が途絶 櫻新聞に書き記されてい がこの第百号を数えた石 れてきた岩手高校の伝統

は三面の第百号記念特集 びを含め、重大な発表が

行されてから、約五十年

ることになりました。こ

の喜びはこの新聞を編集・

いのですが、それらを統 聞が発行されていたらし

出版委員長

う今日この頃です。新入気持ちで頑張ろう」と思

生を迎えさまざまな行事

きたいと思います。

三年生になり「新たな

受け継ぎそして伝えてい 「継続は力なり」です。

れは本当に名誉のあるこ

んばって下さい。

平成九年度の高文祭で

(1)

最優秀賞に選ばれ八月に とです。写真部は県の高 大会に出場するというこ も写真部と映画部が全国 りますが、なんといって 絵画部の作品の入賞もあ ちました。それは書道部、 は岩手高校の活躍が目立

の件につきましてはお詫

日に石櫻新聞第一号が発

集第二部に譲ります。 ては次号の第百号記念特 そのあたりの経緯につい が発行されたわけです。

この五十年の間に培わ

いと思います 読んでもらえるような新 に力を注ぎ、多くの人に ます。出版委員会の活動 ただしくなる時期を迎え 生徒会の活動など、

の代表者から担任の先生

で記念すべき第百号(こ

さて、今回の石櫻新聞

とだと思っています。 昭和二十五年の三月五

んばってください。 い記録が残せるようにが

が、本当にすばらしいこからないかも知れません 発行した者にだけしかわ

括する形でこの石櫻新聞

とです。全国大会でも良

仪総合文化祭の写真展で、

皆さん、

行されました。卒業生の

三月一日に卒業式が挙 おめでとうござ

石

桜

魂を胸に



答辞を読みあげる大坪克彰先輩

無欠席、無早退であった者 長先生が卒業生を激励し 君が代表して受け取った。 記念品としてバックルが贈 えられる名誉ある賞である。 に貢献した団体、個人に与 優秀な成績を修め、石櫻会 労賞は全国大会等において の者に与えられる。石櫻功 刻、欠席、早退が三回未満 校生活の三年間において遅 に与えられる。精勤賞は高 学校長訓辞で池口杜孝校 そして理事長からの卒業 旧応援団長笹田恵介

> 等生には奨学金が手渡され た団体が表彰され、また優 精勤、また石櫻会へ貢献し

卒業式では優等生、皆勤、

圓澤高

子田橋

晃博典

司史哉

高

橋

広典俊

小野寺

士之昭英晃哉行久

優等生七名に奨学金

石

]1]

喜

寛

た。それぞれの表彰を受け

皆勤賞状授与

今 佐々木

満寿雄

大 坪 克 彰 本 頼 彦 彰 本 頼 彦 た卒業生は次の通り。 優等賞状並びに

内藤日柏菊渡泉丸田

田川蔭谷池辺山井鎖

満 剛 拓 芳 寿 雄 士 之 昭

館において挙行された。 旧制の岩手中学から新制の岩手高等学校へと歩ん 本校の新五十回生の卒業式が三月一日、 第五十回卒業式挙行

平成10年4月6日発行 第100号, 101号合併号 岩手高等学校 盛岡市長田町

日

岩手高等学校

米澤隆夫さんと同窓会長の 来賓祝辞ではPTA会長の

期

執行部

コミの分別、徹底を

は大変心苦しいのですが

視

山口北州印刷條 が厳粛に挙行された。この の第五十回卒業証書授与式 日は、新たな旅立ちの時を

続いて卒業生全員の名前が 迎える卒業生二百二十二 に卒業証書が授与された。 呼ばれ、各クラスの代表者 員で「君が代」を一唱した。 を祝福するような晴天であっ 開式の辞のあと列席者全

の歌う校歌に送られて式場 を後にした。 で式はつつがなく終了した。 の光」を斉唱し、閉会の辞 は太田覚さんが感謝の言葉 を述べられた。最後に「蛍 卒業生は在校生五百余名 卒業生保護者代表謝辞で 卒業していった先輩方に

精勤賞状が十四名に授与さ

奨学金が優等賞状を受

七名に、皆勤賞状が十四名、

賞状授与では優等賞状が

本校体育

 位桜同窓生総数は一万三千五百二十二名となる。 できたなかで、今年度卒業生二百二十二名を加えて、

しいと思う。 つまでもよい先輩でいて欲 て欲しい。そしてまた、い はそれぞれの分野で活躍し (徳田)

して優秀な成績を修めた者 状は品行方正で、年間を通

理部に授与された。優等賞 けた七名に渡された。そし

て今年度の石櫻功労賞は物

校生活の三年間、無遅刻、 に与えられ、同時に奨学金

も授与される。皆勤賞は高

卒業生総代大坪克彰君が答 して述べられた。 赤坂俊雄さんがこれからの 辞を読み上げた。 人生に大切なことを祝辞と 松村仁志君が送辞を読み、 在校生総代の現生徒会長 生徒会



後期生徒会執行部 後列右から副会長小原裕之君 (3 C)、生徒会長松村仁志(3 C)、副会長刈田雄大 君(3 E)、前列右から書記本波拓也君(3 C)、書記

いいますと、校内の要望やう事です。それはなぜかと もないからです。そもそも かって目を向けるというの 問題を解決する前に外に向 自己完結出来ないものが外 は自己逃避以外の何もので の情勢を第一に考えるとい 私の考える執行部は校内

の前に己の問題を解決しろ。 オウムでありサヨクだ。そ きたいです。 ますのでもう少し待って頂 者の方と話し合いをしてい 内容変更。これは、今、業 を解決するだ、そんなのは に目を向けるだ、社会問題 閑話休題。まず自販機の 次にごみ問題です。これ一ます。

一える物の分別はきちんとお て会議が白熱しています。 ないような過激な意見が出 が、せめて燃えない物と燃 書いているだけで申しわけ 込みを禁止する。」などの そこで皆さんにお願いです か「ペットボトル類の持ち 室の空き缶入れを廃止して 式会議の段階ですが「各教 になりそうです。まだ非公 皆さんに負担を掛けること 一階だけに設置する。」と

今年は日本勢の活躍に期待

でも多くの人がこの三つに 岩高に大切なのは積慶・重 を掛けずに済みそうです。 ば、皆さんにそれほど負担 こなって下さい。そうすれ 仕えて怠らないことを望み す。強制はしません、一人 き・養正の精神だと思いま 最後になりますが、今、 (松村) ンの活躍が期待できる。 いる無限ホンダに今シーズ ダンにエンジンを供給して 成したプリヂストンや、ジョー も開幕戦でGP初優勝を達 戦している。又、技術面で ディの中野信治の二人が参 レルの高木虎之介とミナル したい。ドライバーではティ

のF1参戦を発表している ンダも、早ければ来年から ホンダのインディ参戦や日 し、F1以外でも、同じく れている。 勢の世界での活躍が期待さ 産のル・マン挑戦等、

ではない。私たちの身近な 何も企業だけに言えること ところ、例えば岩手高校内 しかし、これらの活躍は

の研究発表などだ。たしか 人はたくさんいるのだ。 ならば私たちも、視線を海 それでも同じ岩高生なのだ。 究があってのことであるが にこれらは多大な練習や研 参加や物理部のアメリカで でも、海外で活躍している ニス部のアメリカキャンプ

うか。別に活躍しようなん 外にむけてみてはどうだろ する環境が日本より優れて 将来自分がなしたい事に対 で考えなくてもいい。ただ いるのなら、それを求めて

う。そんな国際化した社会 ない私たちだ。高木や中野、 いに等しくなってくるだろ 国際化してきて、国境もな のだから。もちろん努力も が載っているかも知れない トンポストにあなたの名前 はない。五年後にはワシン く一部の人間というわけで ブリヂストンやホンダはご で生活していくのは誰でも

だっ た謝恩会

フトしか使えな

石櫻会団体功労賞授与

貴知嘉之良伸

第七号

物理部

(戸舘)

くるとだんだんスピードを 滑っていましたが、なれて

の企画・運営による謝恩会 開かれた。旧生徒会執行部 職員を招待しての謝恩会が パレスで、高三卒業生が教 一十六日に南部会館サザン 卒業式に先立って、二月 盛況 カードが進呈された。

手渡された。続いて各クラ 徒会長上杉君から学校長に として印刷機の目録が前生 こなわれ、学校への記念品 ニーでは記念品の贈呈がお イベントであった。セレモ はわんこそば大会がメイン 方に記念品の目録が渡され 杯以上食べた者にテレホン 卒業生にとっても、 後に学年長村井先生の激励 側からは各クラスの代表が 大森両先生が、そして生徒 た。わんこそば大会では百 の言葉で謝恩会は閉会した。 三年間の思い出を話し、最 にとっても思い出に残る謝 先生方を代表して八代・

で旅館に行きま 滑り、送迎バス

した。旅館は

ています。 室でお世話になっ て毎年スキー 「松煙性」といっ 二年生が順番に 旅館では餅つ

下倉スキー場にて

午後にな

日は四時頃まで 念でした。この くなったのが残 て一時は第一リ ると吹雪になっ 上げていました。

岩手中学校は二月十三、 く滑ろう スキー教室

中

ました。はじめはゆっくり 初級は小泉先生と八代先生 日市先生、中級は藤原先生、 十四日に下倉スキー場でス の場所でした。スキー場で 校からバスで一時間くらい キー教室を行いました。学 と佐藤先生についてもらい 滑りだしました。 上級は五 諸注意を受け、体操をして した。 みんな静かでした。 帰りのバスの中では疲れて、 て帰りの時間となりました。 日和でした。昼食をすませ この日は快晴で絶好のスキー はそのつきたての餅が出ま にスキー場に向かいました。 一人ずつ餅をつき、夕食に 次の日は朝食の後、すぐ

なりました。 行事となり、 にとっては中学最後の学校 このスキー教室は三年生 いい思い出と (菅沼)

海を渡るのもいいではない

だろうか。 これからますます社会は

ン」、優良賞に小國大輔先 君(新昌二)の「セプンティー 通り、最優秀賞に梅澤達也

数多くの写真の中から、優 高校からは十名の部員が写

(新高三) の「セプンティー

番」がそれぞれ入賞する

点、最優秀賞を五点選ぶと 良賞を十五点、優秀賞を十 真を出品した。出品された

げてくる面白さが評価され、 貢献をもたらした。こみ上 に輝き、岩手高校に大きな ン」という作品が最優秀賞

願望のあるヨウスケが、自

(旧高三) の「おらほが

回の石櫻新聞でお伝えした

続いて写真部の結果は前

という幸先のよい成績を残

セブンティーン

写真部

運動部に比べると、

もう一つ活動が目立たない文化部

輩(旧高三

また小國大輔先 は 一おらほが

(旧高三)

番」という作品を出品し

個

.

Photo&Cinema



高校総合文化祭写真展最優秀賞 「セブンティーン」 3 B梅沢達也

音波による浮上実験が入選

式に参加した。表彰された 君の物理部代表三名が表彰 年の八重樫寛君(部長)と

年の佐々木格君、菅経一

験」である。簡単に説明す 実験は「音波による浮上実

日本学生科学賞中央審査

るとは思ってもいなかった 八重樫君は一ここまででき

れど、このような表彰を

「来年の三月にアメリカの

波の力で浮き上がらせる」 ると「発泡スチロールを音

ということだそうだ。

この表彰を受けて部長の

しゃっていました

もらいたいものだ。」とおっ 学クラブのトップになって

くれるで

ずやって

結果は映画部が佳作に入る K盛岡放送局で行われた。 送コンテストが六月にNH 高文祭のトップを切って放 ントである。 動が評価される大きなイベ は石櫻祭とならんでその活 版であり、文化部にとって 会館で行われた。高校総合 祭の総合開会式が岩手県民 いってみれば高総体の文化 文化祭、通称「高文祭」は 今年で二十回目を迎える 十月一日に高校総合文化

戸啓雅先輩(旧高三)の が入選し、立体部門では上 れすぎる君たちを嘲笑えな 義昭先輩(旧高三)の「哀 太君(新高二)の「夕焼け」 い僕は何なの?」 最優秀賞に と下道亮

高文祭で好成績 を残してくれた。 賞した小國先輩が入選した。 た書道展では写真展でも入 九月二十六日から始まっ

出場する諸君には、入賞を期待したい。

「うねり」が入選した。

梅沢君も、この作品をもっ 真が全国大会に出品される。 可能、ということだった。 方次第では更に上位入賞も 方々によると、写真の見せ 優良賞に入賞した。審査の

月六日、七日に行わ

最優秀作品など八点の写

実したといえよう。今年、鳥取で開かれる全国高文祭に 部員が次々と入賞を果たしたのである。日頃の努力が結 高校総合文化祭において、映画・写真・書道・絵画の各 その文化部が大活躍している。文化部の県大会といえる

絵画部は絵画部門で高橋 入賞を狙って欲しい。 ている。全国大会でもぜひ 加、出展することが決まっ 年の夏に鳥取県で開催され ハイレベルな作品を展示し る全国高校総合文化祭へ参 推薦を受けて、それぞれ今 映画部は県の放送専門部の ティーン」を引っさげて、 梅澤君の受賞作品「セブン 我が岩手高校から写真部が このような成績を残した

> 真に仕上げるという。全国 き伸ばしをし、より良い写

ドバイスを受けて新たに引 加する。多くの方々からア 市で開かれる全国大会に参 て今年の八月に鳥取県米子

大会でも入賞を狙って欲し

(佐藤) 一みごと優勝した。

また八日の団体戦では先

決勝では盛四の川村を倒し、 16入りし、吉田飛鳥(新高 大池徹(新高三)がベスト 人戦では佐藤真一(新高三)、 れた県高校将棋新人大会個

二)が準決勝で盛一の馬場、

全国大会へ 熱心な活動が評価され

の写真展が開かれた。岩手|| 員が入賞した。梅沢達也君|| で準優勝という輝かしい成県民会館で高校総合文化祭|| 果、岩手高校から二名の部|| ラマ・ドキュメント部門|| 九月十七日から六日間、|| い審査が行われた。その結|| かかわらず「テレビ制作ド の大切なモノ~」というタ 績をおさめることができま した。「SAVE~ワタシ 画部はこの大会初出場にも 大会が行われ、本校からは 映画部が出品しました。映 館において岩手県放送新人 十一月一日に都南文化会

イトルの受賞作品は、自殺 映画は本当にのろわれてい そのような災難にもかかわ う思ったそうです。しかし るのではないか、と皆がそ 態に見舞われました。この に映写機が壊れ上映できな 返るというストーリーです。 は音が出なくなるという事 くなり、それが直ると今度 との大切さに気づき、生き 大会当日、作品の上映中

の姿を通して、努力するこ

ろい映画づくりに励んで下

られることを期待します。 全国大会でもいい評価が得 することになっています。 全国高校総合文化祭に参加 放送専門部の推薦を受けて 作品やその活動が認められ、 らだと思います。 という評価でしたが、この ふれる活動が評価されたか 残せたのは映画部の熱気あ らず、準優勝という結果が そしてこれからもおもし 映画部は高文祭では佳作

(柿木) 聞、タブロイド版では盛岡

り、本校はタブロイド版で|号を迎え、今まで以上に中 新聞は文章、レイアウト、 佳作に入選した。盛岡二高 女子高新聞が最優秀賞をと

月十九日月曜日、第39

物理部

究を行い、部員同士切磋琢 校のクラブの模範となる研 ことだ。これを機に他の高 ベルに達しつつあるという けでなく、実力もトップレ やっと岩高物理部もテレビ 磨し、石櫻精神で全国の科 やマスコミにさわがれるだ 出席した。感じたことは、 でいるそ 部なら必 岩高物理 うです。 取り組ん



勢ぞろいした物理部員、理科実験室にて

今年もやりました。学生科学賞の中央審査で音今や全国レベルで活動している物理部ですが、 波浮上実験が入選一等に輝きました。

の表彰が、東京新宿の京王 顧問の佐々木修一先生と二 その表彰式に、岩高物理部 回日本学生科学賞全国大会 述べていました。 われている表彰式に生徒と しく思います。」と感想を 「学生のノーベル賞ともい 顧問の佐々木修一先生は

プラザホテルで行われた。

を上げて 備に全力 などの進 料づくり 原稿や資 その発表

聞かれそうだが、 櫻」が優秀賞を受賞した。 生徒会誌コンクールで「石 生徒会誌コンクール優秀賞 一それってすごいの?」と 平成九年度、第二十九回

身の濃い新聞にしていきた スを頂いた。石櫻新聞も百 県下一○一思っている。 (客本) の紙面づくりに生かそうと 一が多かった。これらは今後 発展させ方など、学ぶこと や特集記事の考え方とその 行われた。編集のポイント

発表を行った。また水沢高 前委員長の中村史幸先輩が の発表を行い、本校からは 四校が編集の工夫について 奨励賞十校、佳作十四校、 校の斎藤岳城先生の講演も 特別賞七校が選ばれた。 に水沢高校で行われた。

大会でも優勝した。彼らの快進撃は続く。 大会に出場した将棋クラブが、県高校将棋新人 昨年、県高校将棋大会で優勝を果たし、全国 団体ともに制 想通りの苦戦を強いられた。 局同時進行で行われたが予 た。決勝は盛岡第一と三対 に全勝する快挙を成し遂げ 田が盛岡市立、盛岡第三、 | 鋒大池、中堅佐藤、大将吉 先鋒大池は盛一馬場に押し 県高校将棋新人大会 一関高専、花巻北 将棋部として活動する。 して大勝利に終わった。 された。中堅佐藤は盛一尾が、頭一つ出た馬場に先勝 覇

年に引き続き全国大会連続 最後に逆転の詰み手を発見 局し序盤は苦しめられたが 勝。大将吉田は盛一星に対 形に序盤は押され気味であっ たが中盤から盛り返して一 将棋クラブはこの春から

花巻南、

つ押されつの展開であった一らいたい。 出場をめざして頑張っても

団体優勝メンバー、右から吉田飛鳥君、佐藤真一君、大池徹君

生徒会誌が優秀賞

新聞コンクール入選 出版委員会も大活躍

ル表彰式が行われた。ブラ ンケット版では盛岡二高新 会がならびに新聞コンクー 十月一日に新聞技術講習 会では新聞作りのアドバイ 見出し、企画力などすべて りをめざしたい。技術講習 岡二高新聞のような新聞作 高い新聞となっている。盛 の面で抜きんでたレベルの

優秀賞は不来方高校が受賞 最優秀賞一校、優秀賞三校、 した。最優秀賞、優秀賞の りによって体育大会二日目 その表彰式が十月十九日よ 賞なので勝手に喜んでいる。 校の中で上から二番目の 〇一の参加校の中から 最

(3)	平	成10年	4月6日	(月	曜日)			石	桜	新	ß	ı			第100号・101号合併号
第八五	第八三号	第八五号	第八〇号	第七九号	第七七号	第七六号	第七五号	第七四号	97 1	育じます	第七二号		第七一号	第七〇号	100
七八(昭和五三)年	七三(昭和四八)年	七一(昭和四六)	七〇(昭和四五)	六九(昭和四四)			六七(昭和四二)	[上質紙]				六五(昭和四〇)	(中質紙) (中質紙)	「文化祭特集号!」	し拾がナーののあった。となる通我 た。上にで、大変なの刊が、 た。上にで、大変なの刊が、 にない、大変なの刊が、 にない、大変なの刊が、 にない。 にない、大変なの刊が、 にない。 にない。 にない。 にない。 にない。 にない。 にない。 にない。
年 二月二三日 石松	年一二月二四日 忘る	年七月二〇日	年二月一〇日 日	八月二日日	年 月 〇日	七月二〇日 前期	年二月〇日	一二月一五日 県で	£ - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	また 日 五 日 二 日 二 日 二 日 二 日 二 日 二 日 二 日 二 日 二	一二月五日 る/ ター カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カ	年七月二〇日	月三日	1	本、 、
ム・石割桜] /山岳部―インターハ・石桜会役員、新校舎落成、新任紹介・ファン・リーティー・	憂勝にあと一息~水泳・野呂選手国体に出場~山岳・搶穂縦走、石桜会役員忘るる奠かれ建学の精神~山中前・遠藤新校長告別・就任のことば/高総体~庭球・	松() 瀬田望屋・「一川 1988年 198	第高員、生	館専治〔先生〕/出版委員会主催・座談会、運動会開かる昭和4年度石桜会前期役員決まる、[新任紹介] 久保英三郎〔先生〕、昭和45年度・石桜会・前後期役員/座談会『石桜精神』その現状分析	先輩村上昭夫氏の詩集「動物哀歌」晩翠賞受賞、明治は一年の詩集「動物哀歌」晩翠賞受賞、日本の詩集「動物哀歌」晩翠賞受賞、日本の詩集「動物哀歌」晩翠賞受賞、日本の詩集「動物哀歌」晩翠賞受賞、「一日本の詩年」	「寄れ、ア・コテード日を甲を、卓球四度目の優勝、柔道初の団体優勝/「寄稿」「車と"技》と"心、高体連の旗のもと、卓球四度目の優勝、柔道初の団体優勝/「寄稿」「中と"諸祖」の団体優勝/「寄稿」「中 を乗する	動の文化大革命」上野英夫 が、『『はいか』 からから 「日省」に接関なり飲食先生を囲んでの対談、『ルポ』 あるクリスマスの晩・生活委員会が孤児院を訪問/「激励の文化大革命」上野英夫 「おんず」という 「	た文化会、「文化会乱にまま引いたままート田券子)所入战を命る~柔道能なり憂券~また県で一位、東北で四位の『三つのリンゴ。県と東北で好成績を収めた演劇部/カメラが捕え、新執行委員に聞く「石桜功労章授与さる・表情変えず受けた「体操、東北大会一位の〕舘沢君、居」『清人・独参リネー』で、『大・北巻名とき』』『言っぱ』を少し、	問「「青足は無気力を不満足は意次を生む」と語る草島先生問「青足は無気力を不満足は意次を生む」と語る草島先生問「青足は無気力を不満足は意次を生む」と語る草島先生問「青足は無気力を」「一般的	奸 年	央勝で昔牧) 「寄稿」「ヨーロッパ雑卺」中村嘉明、絵画部村上OB「館」全国学生美術展る/秋のスポーツ競技新人戦私学祭開かる~各部とも健闘~ラグビー・インターハイ県予選・卯年度後期新役員決まる~会長に岩本 〔重広〕君、〔岩大学長杯〕英弁で二位/文化祭をみ	卓球優勝成る・佐藤啓二郎〔卓球の優秀選手として〕表彰さる/私の学生時代地軍次先生・菊地治雄先生・山岸道利先生/高校スポーツの祭典第17回高体連う体操・水泳	石桜会総会開かる、市内某女子高との懇談会/前回より多難でHCE・おもしろいプ言問堂	前回に)を推合ってで、おうころから、39年度・岩高・岩中・文化祭開かる~	
新任紹介~菊池健先生、「会長就任にあたって」 新任紹介~菊池健先生、「会長就任にあたって」	体に出場~山岳・愴穂縦走、 遠藤新校長告別・就任のこと	道インターハイに期待/[先輩寄稿]	- 第二十三司國民本尊大会告手長大会・告寄の夸り・国本選手の高一東力テスト行わる~岩中・英才教育。の結晶・中学3年三浦〔由太〕君の眞〕「先輩寄贈図書」詩集『結晶のノートル・ダム』佐藤章氏/昭和四十五:後期生徒会役員/文化祭	座談会、運動会開かる [新任紹介] 久保英三郎 [先生]、 座談会 "石松精神" その現状分析	 	、卓球四度目の優勝、柔道初の団体優勝/「寄稿」「東部昇格問題となる*/岩高*よいとこ、わるいとこ、*カ』」を重達すご	(30) の	(まート田券丁/ 所人伐を飾る) 対。県と東北で好成績を収める・表情変えず受けた〔体操、名・表情変えず受けた〔体操、	次を生む」と語る草島先生や連おわる~柔道・卓球・庭2・柏木重典、「若者の心をとら	本君再選/「新任紹介] 小畑の諸君に想う―」鈴木一	性感一中村嘉明、絵画部村上2.かる~各部とも健闘~ラグビ・不〔重広〕君、〔岩大学長杯〕	〔卓球の優秀選手として〕表彰さる/私の学生時代山岸道利先生/高校スポーツの祭典第17回高体連~	の懇談会/[学園展望]長髪問題いかに、]言問を 〜〔演劇部〕霜夜だぬき〜昔の文化祭/文化祭をみる〜	次号で紹介の予定だが、 次号で紹介の予定だが、 されるだけになっている。 とはいうものの、新聞はとはいうものの、新聞はとはいうものの、新聞はこれ続けた。 九七二年には遂に刊行されずじまい。 たしころが、一九七二年には遂に刊行されずじまい。 なる。後で考えよう。 たいの年、何があったか気になる。後で考えよう。 たいの年、何があったの気になる。後で考えより。 たいの年、何があったの気になる。後で考えより。 たいの年、何があったの気になる。後で考えより。 たいの年、何があったの気になる。後で考えより。 たいの第八一号から号数の付け間違いがあったのだ。 アーカー マー・カー マー・カー・カー マー・カー マー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー
、新人戦~卓球・細川〔康生〕選手、個「会長就任にあたって〕田丸正人、[コラー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	石桜会役員 石桜会役員	[聖存] 「大学をめざす後「一カ月の大学生活」三田	(由太) 君・	高橋一義〔先生〕、東	中順三/文化祭特集/化指定校に選ばる・卓	の団体優勝/「寄稿」「東いとこ、わるいとこ、『力』		6~柔道堂々の憂券~まためた演劇部/カメラが捕えめた演劇部/カメラが捕え	球個人優勝成る/[家庭訪える何かが]「一般的	勝行先生・遠藤凊安先生・	絵画部村上OB「館」全国学生美術展健闘〜ラグビー・インターハイ県予選・「岩大学長杯」英弁で二位/文化祭をみ「岩大学長杯」英弁で二位/文化祭をみ	私の学生時代	問題いかに、新任紹介~菊	の文化祭/文化祭をみる~	にから、大学では、 にから、大学では、 で、 で、 が見られた。その後、一九五年までの四月には本校の旧校舎で、 ので、ただし、号数に混乱です。ただし、号数に混乱です。ただし、号数に混乱でいた。七七年のが、八二年と八三年はで、新聞が刊行さよう。 で、変年に新聞が刊行さよう。 で、大学では、一年までは年と八三年間の眠りにつく。 そして、九六年と八三年はにか、八二年と八三年はの眠りにつく。 そして、九六年に新聞は 十二年間の眠りにつく。 そして、九六年に新聞は 十二年に回回にいて、 を数え、往年に近は年に四回に ある。
を呈していたようだ。 大会で好成績を収め、	そうで、七四号のとおり、克彦さんらも所属していた	作家としてご活躍中の高橋いる。この演劇部、現在、芝居がメインで紹介されて、	の「霜夜だぬき」というおいえ、これは淋しい。いえ、これは淋しい。	が盛り上がらな	ないた。今や、ほとんど の高校が夏休みを終えて間 の高校が夏休みを終えて間 も無く文化祭を開く。本校	の周辺の芸術の火こうなっかつて、文化祭はされる様に、発行月日に示される様に、	なと答さ合ったと寺長さ。 七○号は、前号に倣い、 コメントを挟むとしよう。 主な記事を、眺めつつ、	第九九号	第九七号	第九五号	第九四号	第九二号	第九二号	第九一号	第 第 第 第 第 第 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八
そ活れ況			では演劇部にしい。	か、文化祭	・ 関く。本校 は、 を終えて間) D \				九七(平成九)		九六(平成八	八三(昭和五	八二(昭和五	八一(昭和五
もお変わりない、かな?	する人物やら愛読書を答え先生方が新任の折りに尊敬	現在もご指導戴いている配も相変わらずだ。	生ののんびりぶりに対しても進路を決めていない本校くり」とは、三年になってくり」とは、三年になって、四号の遠藤先生の一びっ	驚愕!!	などへの関心は今も強い。	また、長髪の問題は削引号懇談会という記事がある。七一号に某女子高校とのもこと語	デンブがこもったる。 事は七六号と八二号のケー部の栄枯盛衰を思う。同じ 部の栄枯盛衰を思う。同じ	二月八日		年三月一日	九月七日)年 六月一七日	八)年一月二五日	七)年九月二五日	五) 年 八月二日 二月二日 八月二日 一二月二日 八月二日 八月二日 八月二日 八月二日 八月二日 八月二日 八月二日
八一号に中	を携	いる 七五号のルポは、基金をな気、号のインベーダーゲーム、			- 40	刊号 の部員は、この伝統を脅りる。 部の活躍も見られる。現在との 部、八三号には庭球と山岳		魅力ある学園祭を/写真部、紹介	部、紹介部、教行部/化学部、紹介の全国高総文祭へ/テニス部、岩高維新、教行部/化学部、紹介	国立大(合格者、十四名/新入生諸君/岩高の常識・非常識/スキー部、新委員の抱負/映画部、紹介	快適な夏期講習/バスケットボール部、紹介合言葉は70、石桜祭/創立七十年/旧職員、足澤先生に聞く/山梨インター・ハイを終えて/テニス部、ソフトテニス部、山梨インター・ハイ出場/将椎笛、経介	物理部イベントに参加/特別進学コ木修一	後期生徒会役員、「生徒会長になって」石橋好幸、/新人戦、「後期生徒会役員、「生徒会長になって」石橋好幸、/新人戦、「	〜 牧斗薯츛定問頭/高総本、 岩手山登山、 牧生大いに語る!〜 牧斗薯츛定問頭/高総本、 岩手山登山、 牧士大いに語る! (七年)、 [石割桜](年十月4) ・ 「 大生)、 「石割桜」(中) ・ 「 大生)、 「石割桜」	大会の出場を表して、一方のとない。 一名教会役員、「全民就任にあたって」田中和斗、吹奏楽部この一年をふりかえって〜全日本の吹奏楽コンクール東北大会に七年ぶりの出場を果たす、「石割桜」〜"カラ出張"インベーダーゲーム/「昭和五四年度石桜祭開かる」村井仲吾、戸嶋先生文部大臣賞を受賞、中村先生は岩手教育芸術大賞受賞、新人戦・我が校の健闘及はず生は岩手教育芸術大賞受賞、新人戦・我が校の健闘及はず生は岩手教育芸術大賞受賞、新人戦・我が校の健闘及はず生は岩手教育芸術大賞受賞、新人戦・我が校の健闘及はず生は岩手教育芸術大賞受賞、新人戦・我が校の健闘及はず生は岩手教育芸術大賞受賞、新人戦・我が校の健闘及はず生は岩手教育芸術大賞受賞、新人戦・我が校の健闘及はず年後谷役員、「生徒会長就任にあたって」渡辺要、本物の勝利のために一活躍する軟式庭球・準優勝の県選抜インドア大会兼東北インドア予選会に出場権を得、秋季校内体育大会開かる、部〜県選抜インドア大会兼東北インドア予選会に出場権を得、秋季校内体育大会開かる、部〜県選抜インドア大会兼東北インドア予選会に出場権を得、秋季校内体育大会開かる、部・県選技インドア大会兼東北インドア予選会に出場権を得る、石桜会役員、「生徒会長就任に当たって」渡辺要、本物の勝利のために一活躍する軟式庭球権を得る。「石器校」〜全国で野球部員の不祥事による出場を決した。「石器校員、「全国を発展、「石器校員、「生徒会長就任にあたって」第四を発展、新任紹介と作品を表し、「石割校」〜東一大戦を投員、「生徒会長就任にあたって」第四を発展がある。「石割校」〜東一大会、「大会」、「大会」、「大会」、「大会」、「大会」、「大会」、「大会」、「大
様で新聞を出しそびれたの	人民共和国の国交が樹立し港で銃乱射し、日本と中華	帰し、赤軍がテルアピブ空が自殺し、沖縄が日本に復が山荘にこもり、川端康成	ピックが開かれ、連合赤軍発見され、札幌冬季オリン隊生活を続けた横井さんが	号だつた!!	時代には何があったのか。さて、本紙のブランクの	年間、中学は空白の朝間を減少し、一九七一年から三こともある中学の志願者がこともある中学の志願者が	一学年で四学級を編成したはドラマチック!かつて、中学の募集中止。この変遷中学の変遷		, 二ス部、高総体、準優勝/岩高	岩人岩高の常識・非常識/スキ	・部、紹介 旧職員、足澤先生に聞く/山梨ヶ	ース新設/石桜精神/サッカー	こ」石橋好幸、/新人戦、「文化祭」	『登山、教生大いに語る!て」畑中幹夫、新任紹介~佐々・	新任紹介〉佐藤先生、加藤先生、村井先生、教生大いに語る、 高校総体〉卓球、庭球などの活躍がめざましく、岩手山登山 高校総体〉卓球、庭球などの活躍がめざましく、岩手山登山 高校総体〉卓球、庭球などの活躍がめざましく、岩手山登山 一に和五四年度石桜祭開かる」村井伸吾、戸嶋先生文部大臣賞 「昭和五四年度石桜祭開かる」村井伸吾、戸嶋先生文部大臣賞 「昭和五四年度石桜祭開かる」村井伸吾、戸嶋先生文部大臣賞 「昭和五四年度石桜祭開かる」村井伸吾、戸嶋先生文部大臣賞 「昭和五四年度石桜祭開かる」村井伸吾、戸嶋先生文部大臣賞 「昭和五四年度石桜祭開かる」村井伸吾、戸嶋先生文部大臣賞 「年徒会長就任に当たって」渡辺要、本物の勝利のために一活 「生徒会長就任に当たって」渡辺要、本物の勝利のために一活 「生徒会長就任に当たって」宮野草、「石桜祭、新人戦~ 生徒会長になって」小原良猛、新任の先生~八重樫律寺先生、「石割桜」~全国で野球部員の不祥事による出場辞 「生徒会長になって」小原良猛、新任の先生~八重樫律寺先生、 「生徒会長は任にあたって」宮野球部員の不祥事による出場辞 「生徒会長は任にあたって」宮野球部員の不祥事による出場辞 「生徒会長は任にあたって」宮野球部員の不祥事による出場辞 「生徒会長は任にあたって」宮野球部員の不祥事による出場辞 「生徒会長は任にあたって」宮野球部員の不祥事による出場辞 「生徒会長は任にあたって」宮野球部員の不祥事による出場辞 「生徒会長は任にあたって」宮野球部員の不祥事による出場辞 「生徒会長は任にあたって」宮野球部員の不祥事による出場辞 「生徒会長は任にあたって」宮野球部員の不祥事による出場辞 「生徒会長は日本は、新生の大田、大田、大田、大田、大田、大田、大田、大田、大田、大田、大田、大田、大田、大
たのである。	一〇〇号、実は、一〇一号だっという事。すなわち、この	それは、九二号が二つあるただ、判った事がある。	本紙がどう変わっていくのともあれ、本紙は復活をともあれ、本紙は復活を	新聞が発行されない年でも 滝沢グラウンドが整った。	た成ンに。合夏り九三月は 件の八八年は体育館などが いた年には一学年が八学級	り原発事故が発生下のとおり。チェートのとおり。チェートのとおり。チェート	で、別の幾会に譲る。本交辿ってみたが、紙幅の都合度目のプランク期の事件もあれない。二度目と三	(担当=白木晃久)		7一部、紹介	コンター・ハイを終えて/	・・クラブ紹介	/新人戦、「文化祭を思い出しながら」佐々	木修一〔先生〕、[石割桜]	対対 1 元 2 本 2 本 2 本 2 本 2 本 2 本 2 本 2 本 3 本 3 本

1100

決死。

`

九名。中央高校 ンに備えている。

現在の部員は

る、キャプテン がもっとも恐れ 場での練習とい

や県営スケート からは盛岡アイスアリーナ 八戸遠征で氷上練習、十月 基礎体力作りを、七月には

ことであった。

来るべきシーズ う活動を通して

築。

岩手県№1

のゴールキーパー ペシャリスト都 近谷。守備のス



阿都阿上兔大工部築部野澤橋藤 周平 一剛明朗史修 (3 B) (3' A) (旧高三) 3 C (新高二) (旧高三

大坂西近山佐沼澤本川谷内藤倉 仁尚望士徳 陽營圭祐之一 謙 (新高二) (3 A (旧高三) (3 B)







吉田コーチ



佐々木先生

顧問の佐々木康明先生はした。

ア イ ス ホッケー部

到来

トレーニングを中心とした からランニングやウェイト かも知れない。実際は四月 一勘違いしている人もいる 報でチームをまとめ、いいはないが、豊富な知識と情 に取り組んでいきたいとの 校打倒を目標に必至に練習 の有力選手を迎え、中央高 切にするコーチである。 で活躍したこともあり、 ある吉田コーチは国土計画 さんである。本校OBでも いるのはコーチの吉田直弘 アイスホッケーの競技経験 の経験を生かし、基本を大 アドバイスをしてくれる。 来シーズンは県中学代表 実際にチームを指導して そ

ケー部とスキー部も各大会で健闘した。

高総体

一月十二~十四日

準優勝

一回戦

県営スケー

ト場・アイスア

ンタースポーツが注目を集める中、

長野オリンピック、

そしていわて銀河国体とウィ

本校アイスホッ

(注)これまで三点間なられてない (1)

> 呼ばれて注意を受けた程で ます。なにしろ高校時代に れまして大変戸惑って居り を書いて下さいと、

げます。

九九八年

H

高橋 三月三十

仙

僕は出来るだけ仕事をし、

から…

それはそれとして、

は国語で欠点を取り、

親が

発展を心から御祈り申し上 げます。岩手高校の更なる 生徒の皆さんに感謝申し上

なり、

今年は生徒会誌の役割に

長い間ありがと 3 2" ざいました

の「いわて銀河 で

彼らは一月

国体」でも活躍

部

名

簿

高 橋 先生 〈数学科〉

> て二三年間熱心な教育をし 五〇年から数学科教諭とし

た。また、高橋先生は昭和 にお力を尽くされてきまし 主任として本校発展のため

りあえずがんばった。では

いや~つかれた×2、

٤

佐々木

恒

言「実はコレ百一号だ!」

西

國

礼

+

ても楽しかった。また、原

出版委員をやってみてと

を

稿を書きたいと思った。

戸

舘

裕二

までお世話いただき、ありれしたいと思います。今日ごされるよう祈念し、お別

幸い、よい生徒さん、同僚 た。あっという間でした。 れから二十三年が過ぎまし 時はありませんでした。あ ました。あの時程緊張した 受け、翌日から授業に入り から今後の日程など説明を れ、緊張しながら教頭先生 の木造校舎の応接室に通さ が漂って居ました。西洋風 日は辺り一面桜の花の薫り

新聞ができてよかった。 しかったけど、すばらしい

一年間出版委員をやって

佐

藤真一

いろいろあって、いそが

く有意義な第二の人生を過 ていただきました。

お二人の先生方には楽し

がとうございました。 までお世話いただき、

高橋仙一先生の言葉

に有難う御座いました。

新聞を作っていきます。

りと、いろっちこと

佐

藤

潤哉

でした。

猪

瀬

広

ましたが、これからもよい

今回の新聞で百号を迎え

いろいろ勉強になった。 きて、とっても楽しかった。

作

ごさせて頂きました。本当 の先生方に恵まれ楽しく過

退職に当たりなにか感想

依頼さ

藤貫中先生、同僚の先生方、 最後に校長先生はじめ遠

舘 専 東 (事務主任)

れました。 に離任式が行わ す。三月十三日 橋仙一両先生が ご退職になりま て東舘専治・高 今年度をもっ

市内高校との合同練習、GKが本校坂本

八年十一ヶ月の 長きに渡って、 ことにも昭和六 年からは事務 東舘先生は昭



離任式 右から高橋先生、

決勝戦 準優勝 岩手9 岩手0 回戦 0 2 0 0 | 3 Ç 5中央 0盛

盛岡アイスアリーナ 第七回連盟会長杯 ●アイスホッケー部

岩手32

十月三十~十一月一日

リーグ戦 第二位 盛岡アイスアリーナ

9

ひよい結果を残して下さい。

朝練、夜練と大変ですが、ぜ

岩手13 岩手1 5 0 | 5 0盛北 8中央

高総体 一月十九日 ・スキー部

岩手2 岩手16 10中央

5 1 盛 ジャイアントスラローム

佐藤俊平

一回戦

岩手

2 0

滋賀

岩手 岩手 岩手 岩手

2 1 8

宮城 大阪 栃木 出

中

ш

亮

七・八位戦

5 14

笹田恵介



集後

> コソと本を読んでいました。 邪魔にならないようにコソ

柿

木和

磨

委員長 たいと思います。 よりよい新聞を作っていき しく思います。これからも 仕事、 第百号を迎えとてもうれ 色々やりました。 小 林亮 平

面倒だった。

伊

藤

純

が、アンケート集計などが

私は記事は書いていない

パナ」読もうプチ~~~!! 副委員長 石川貴弘 りました。これからいい新 副委員長 ついに石桜新聞百号にな 白 木晃 久 その分やりがいもあった。 い。一番面倒な委員会だ。

とりあえず読め。 * 小 内浩 野 光

に載ったことが面白かった 自分の書いた記事が新聞 陽

彰 ほしい。 中学生の記事などを入れて 今年はもっと原稿の内容 今年はもう少し新聞の中 菅 沼 貴 喜

て、 います。さようなら。て、いい仕事ができたと思 これからも頑張りたいです。 今年一年、 攝 客 出版委員をやっ 待 宏 記

文

出版委員は呼び出しが多

になりました。この調子で これからも頑張って下さ ついに石桜新聞百号まで アデュー、 そして有難う。バイバ 太 再来。 布 本 正太郎 裕 也

十二月二十~二十三日 スキー部 古 工藤定史 十八位 笹田恵介 (東北大会出場) 十四位

ジャイアントスラローム 笹田恵介 十八位 佐藤俊平 (東北大会出場) 三十位

二十七位 十六位 16という結果を残した。 大阪 靱公園 なみはや国体 十月二十五日~二十七日

一月二十一

日

体に出場した。一回戦勝ち大阪で行われたなみはや国 を成し遂げ、団体戦ベスト 抜きという岩手県初の快挙 してミニ国体を勝ち抜き、 長澤興祐が岩手県代表と 敗者戦

一回戦

围 アイスホッケー = ス

体 報

本校より兎澤 修・近谷 一月二十四~二十八日いわて銀河国体 0 1 2 大阪

績であった。 の四名が岩手県代表として 陽祐・都築 明・坂本仁士 参加、健闘し8位という成 回戦

彦 食べるのはナカナカいける 御飯にマヨネーズかけて

問 外和五日舘田市 克健

健祐賢真

太司介也桂

菊 小笠原 松佐青 H Ш

を書いてほしい。 これからは、 もつと読み

佐々木 秀 成

いと思います。 、詳しく、 面白く書きた

裕郎悌

岩巨戦

告